

工事現場仮設宿舎が警察職員寮に

在エチオピア日本国大使館

平成 23 年度 ODA 事業として、アファール州アワシユ市にて国道 1 号線アワシユ橋掛け替え工事（工期 2011 年 3 月～2014 年 2 月、2015 年 3 月竣工式）が行われましたが、同工事終了後、連邦警察から、工事を担当した日本企業が設置していた工事作業員用の宿舎を譲渡して欲しくないか、との要望がありました。

同宿舎の隣には、当時、新設の連邦警察初級及び中級訓練センターが設置されていたものの、予算等の都合で、職員や指導員の宿泊施設が十分でなく、同宿舎に白羽の矢が当たりました。

日本大使館、JICA 及び工事を担当した日本企業は、「有益に活用されることを希望する」との意図を表明し、2014 年に連邦警察の訓練施設の職員寮として引き渡しました。

同宿舎は、日本企業にとっては仮設の宿舎でありましたが、日本企業の施工によるため、当地の一般的な建物よりも堅牢であり、また当地の特に、地方部では未だ珍しいエアコン等の空調が設置されており、2019 年 5 月現在でも活用されています。

同訓練施設センターのメンギスツ次長は、「日本から引き受けたこの建物は今も活用しており、当センターの職員の誰もが日本が作ったものとして感謝している」と述べました。

ODA 事業により整備されたアワシユ橋は、現在もジブチとアディスアベバを繋ぐ要所路として活躍されているものの、元宿舎の活用という副産物により、二重の貢献となりました。